



GMO グローバルサイン持続可能な調達方針

バージョン 1.0 – 発行日: 2026 年 1 月 19 日

目的

本方針は、グローバルサインが環境、社会及びガバナンス（ESG）目標を支える持続可能な調達活動に取り組む姿勢を示すものです。当社は、倫理的かつ責任ある調達が事業の持続可能性に寄与することを理解しており、サプライチェーンとの協働を通じて、継続的にパフォーマンスの向上に取り組んでいきます。

適用範囲

本方針は、グローバルサインが世界的に行うすべての調達及び購買活動に適用されます。購買に関与するすべての従業員並びにすべてのベンダー、サプライヤー及び受託業者を対象とします。

原則

当社は、以下の事項に取り組みます。

- すべての調達活動において、関連する法令及び規制枠組みを遵守すること。
- 研修等を通じて、持続可能な調達に関する意識を組織全体で醸成すること。
- サプライヤー評価プロセスの一環として、サステナビリティの基準を考慮すること。
- 製品、物品、サービス、工事及びユーティリティを調達する際に、サステナビリティを意識すること。
- 責任ある慣行を推進することにより、サプライチェーン全体におけるサステナビリティを促進すること。
- 継続的なサステナビリティ向上を支援するため、サプライヤーとの建設的な関係を構築すること。

サプライヤーへの期待事項

当社は、サプライヤーに対し、以下の事項を期待します。

- ESG 評価に参加し、関連する方針及び取組みに関する文書を提供すること。
- すべての事業活動において、関連する法令及び規制枠組みを遵守すること。
- [サプライヤー行動規範](#)の原則に基づき、グローバルサインと同様の価値観を尊重すること。
- ESG に関連するパフォーマンスについて、継続的な改善を示すこと。
- 違反や調査を含む、ESG 関連のインシデントについて、オープンかつ誠実に情報共有すること。

評価及びモニタリング

- サプライヤーとの取引関係を開始する前に、グローバルサインは当該サプライヤーの ESG への取組みを評価し、その後も定期的にレビューを行います。
- 改善が必要と判断されたサプライヤーに対しては、合理的な期間内での改善に向けた支援を行います。
- 最低限の ESG 基準を満たさない場合、取引の中止又はサプライヤーの変更につながる可能性があります。

優先対象となるサプライヤーの特性

当社は、ISO 14001 や SA8000 などの信頼性のある ESG 認証を保有し、国連 SDGs を含む国際的なサステナビリティ基準に整合し、環境に配慮した製品・サービスを提供し、かつ、当社の製品・サービス要件を満たすサプライヤーを優先することを目指します。これは、サステナビリティ、インクルージョン及び責任ある調達という当社の広範な目標の達成に資するためです。

社内における責任

- すべての調達判断において、ESG の観点を考慮することが奨励されます。
- 法務及びコンプライアンス部門は、ESG に関するデューデリジェンス及びリスク低減を支援します。
- すべての従業員は、サプライヤーの慣行に関する懸念事項を報告することが奨励されます。

改善に向けた取り組み

本方針は毎年見直しを行い、変化する ESG 基準、利害関係者の期待及び規制要件を反映するために更新されます。